

平成29年度事業計画書

(東区地域包括ケア推進会議 認知症専門部会)

1 基本方針

(28年度までの実施結果、今後の課題、課題を踏まえて29年度何を目標とするか 等)
○平成28年度までは、地域住民に認知症になっても安心して暮らせるまちをめざし、認知症の方やその家族を支援する地域風土をつくる契機とする啓発事業や、平成27年度に作成した「認知症ケアパス」の普及啓発を行ってきた。
○また平成28年度は、「認知症の方の居場所づくり支援(認知症カフェの開設・登録・運営支援)」を中心に議論を行い、東区における今後の認知症カフェの開設支援の方向性が見えてきた。
○平成29年度は、認知症カフェの開設・運営支援と、過去に養成してきた認知症サポーターの活動支援を関連付けながら、認知症になっても安心して暮らせる取り組みを行う。併せて、平成28年度に行った「認知症ケアパス」の普及啓発について、検証するとともに、さらに活用しやすいものへ更新作業も行う。また、引続き「みんなのついで」の寸劇による認知症の普及啓発にも努める。

2 必要経費(総額)

753,000 円

3 年間スケジュール

4月		★通年事業★ ・認知症「寸劇」の実施 ・認知症ケアパスの普及啓発 ・認知症カフェの開設・登録・運営支援
5月	・第1回認知症専門部会の開催	
6月	・認知症ケアパスの更新作業(ワーキンググループ)	
7月	・認知症サポーターフォローアップ講座の開催	
8月		
9月	・第2回認知症専門部会の開催	
10月	・認知症カフェ交流会の開催 ・第3回認知症専門部会の開催	
11月	・元気いきいきフェアの開催	
12月	・はいかい高齢者おかえり支援事業模擬訓練の開催	
1月		
2月	・第4回認知症専門部会の開催	
3月		

4 取組み内容 ((2)～(4)について複数の取組みを行う場合は、適宜記載欄を追加してください。)

(1) 認知症専門部会の開催

1	事業名称	認知症専門部会の開催			
	事業目的	保健・医療・福祉の関係者が地域における認知症に関する課題について検討し、様々な取り組みを実施することで、関係機関の連携を深め、認知症の方々が暮らしやすい地域社会を実現するために開催する。			
	事業内容	【開催回数】4回 【構成員】医師会、民生委員、推進協、介護事業者、行政等 【主な議題】 第1回：平成28年度事業実施報告他 第2回：認知症ケアパスの更新他 第3回：認知症サポーターフォローアップ講座他 第4回：平成30年度事業計画他			
	必要経費 (円)	¥29,000★	内 訳 積算等 (円)	印刷製本費 通信運搬費 消耗品費 会議費	¥4,000- ¥14,000- ¥3,000- ¥8,000-

(2) はいかい高齢者おかえり支援事業模擬訓練

2	事業名称	はいかい高齢者おかえり支援事業模擬訓練			
	事業目的	徘徊する認知症高齢者への声掛けの訓練と、はいかい高齢者おかえり支援事業のPRを行うことを目的に開催する。			
	事業内容	【開催回数】1回 【内容】若い世代に事業を知ってもらい、協力者(おかえり支援サポーター)となってもらえるよう、声かけの説明及び模擬訓練を行う。			
	必要経費 (円)	¥68,000★	内 訳 積算等 (円)	印刷製本費 通信運搬費 消耗品費 会議費	¥30,000- ¥17,000- ¥13,000- ¥8,000-

(3) 認知症サポーターのフォローアップ

3	事業名称	認知症サポーターフォローアップ講座			
	事業目的	東区では、過去において多数の認知症サポーターを養成してきた。その中で、さらに認知症のことについて理解を深めたいと希望する区内在住の認知症サポーターを対象者に、フォローアップ講座を開催する。			
	事業内容	【開催回数】1回 【内容】区内の認知症についてさらに理解を深めることを希望する認知症サポーターを対象に、認知症の人と家族の会や医師、専門職等を講師として迎え、認知症関することについて、さらに理解を深め、地域で自身が何がができるかを考える講座を開催する。			
	必要経費 (円)	¥157,000★	内 訳 積算等 (円)	印刷製本費 通信運搬費 諸謝金 消耗品費 会議費	¥20,000- ¥17,000- ¥100,000- ¥10,000- ¥10,000-

(4) その他の取組み

4	事業名称	認知症カフェ交流会の開催【新規】		
	事業目的	東区では、現在3カ所の認知症カフェが設立されている。それらのカフェや地域のサロンが交流することで、運営支援の一助となることとともに、認知症カフェに興味のある方に参加していただき、認知症カフェのPRにつながるよう開催する。		
	事業内容	【開催回数】 1回 【内容】 区内の認知症カフェの活動報告を行い、運営面等での情報交換を行うとともに、認知症に興味のある方(特に認知症サポーター)にも参加していただき、認知症に関する学習機会とするとともに、地域での認知症サポーターの活動支援につなげる。		
	必要経費 (円)	¥40,000★	内訳 積算等 (円)	印刷製本費 ¥5,000- 通信運搬費 ¥17,000- 消耗品費 ¥10,000- 会議費 ¥8,000-
5	事業名称	認知症の方の居場所づくり支援(認知症カフェの開設・登録・運営支援)		
	事業目的	認知症の人やその家族、地域の人が集い、介護の悩みなどを語り合う場である認知症カフェの開設及び運営について支援する。		
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・開設・運営助成の受付 ※補助金は、認知症相談支援センターが負担 ・開設・登録・運営の相談及び支援 ・既存のサロンへ、認知症の方も利用できるサロンの普及啓発を行う ・認知症カフェのPRになるよう東区版のネーミング及びロゴマークの作成 		
	必要経費 (円)	¥100,000★	内訳 積算等 (円)	印刷製本費 ¥100,000-
6	事業名称	認知症ケアパスの更新・普及啓発		
	事業目的	認知症になっても、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるように、認知症の容態と適切な対応を示した「認知症ケアパス」のさらに使いやすいものとするを目的に、更新作業を行うとともに、普及啓発を行う。		
	事業内容	現時点では、認知症ケアパスを配付したが、その後の活用方法等の課題を把握できていない状況にある。そのため、まずは関係するサロンや認知症カフェ等で、活用方法等を聞き取りし、現在の認知症ケアパスの課題を整理する。また、ワーキンググループを設置し、さらに活用しやすい認知症ケアパスとなるよう、更新作業を行う。 【ワーキンググループ】 6月から1月にかけて開催		
	必要経費 (円)	¥71,000★	内訳 積算等 (円)	印刷製本費 ¥43,000- 通信運搬費 ¥20,000- 会議費 ¥8,000-

7	事業名称	元気いきいきフェアの開催		
	事業目的	認知症になっても安心して暮らせるまちをめざして、地域住民に認知症をさらに理解してもらい、認知症の方やその家族を支援する地域風土をつくる契機とする「元気いきいきフェア」を開催する。		
	事業内容	【開催回数】 1回 【内容】 映画上映会と認知症予防体験等を1日で行い、若い世代にも認知症について普及啓発を図る。 ※近い日で、保健所が開催する認知症講演会も行き一体的に開催する。		
	必要経費 (円)	¥245,000★	内 訳 積算等 (円)	諸謝金 ¥50,000- 印刷製本費 ¥65,000- 消耗品費 ¥20,000- 賃借料 ¥110,000-
8	事業名称	正しく・楽しく理解する寸劇(みんつく一座)による認知症の啓発		
	事業目的	認知症の方やその家族が地域で安心して暮らすためには、より多くの地域住民が認知症について正しく理解することが必要である。そのため、福祉専門職を始め地域住民と、認知症啓発に関する寸劇を行い、認知症の方等を地域で温かく見守る応援者を増やす。		
	事業内容	【開催回数】 地域からの依頼、認知症サポーター養成講座、イベント等、随時実施 【内容】 寸劇の実施にあたり、打合せや勉強会を行ったり、小道具の材料費を購入する。		
	必要経費 (円)	¥43,000★	内 訳 積算等 (円)	諸謝金 ¥14,000- 印刷製本費 ¥9,000- 消耗品費 ¥10,000- 会議費 ¥10,000-